

文芸

俳句

豊の秋コイン呑み込む精米機
伊藤 敬子
赤い羽根飢餓の子等へと小さき手も
今関満喜子
昨日とは違うこの部屋秋の風
魚地 照子
ガード下立ち飲み集う宵闇時
加瀬 俊昭
ボール打つ子投げる子追ふ子暮早し
川島 通則
八十年銀河の端に棲みにけり
向後 寛
総領の祝儀ことほぐ豊の秋
越川せつ子
物置の破れトタンや秋を打つ
小松 藤男
蝗飛ぶ煙の中の落暉かな
佐瀬 輝夫
二つ子あり三つ子のありて毬の栗
鈴木とし子
窓開く冷氣立ちくる暮の秋
土屋美枝子

省みるひと日ひととき梨を剥く
土屋 義昭
けたままし鴉の鳴くなり朝早く
戸村 静華
来客に猫すり寄りて秋暑し
内藤 くに
秋風をかたちにすれば塩むすび
早川 勇
ダイエットしてるか秋刀魚小振りなる
藤田 雅夫

意気合わせ獅子なる二人が上りゆく
高き梯子をただに見守る
加瀬 弘子
運動会の遊戯ひと振り見せられて
つづき見に来よと児は得意気に
押尾 輝子
寡婦なりしわれら三姉妹と弟の
夫婦に語る彼岸会に来て
鈴木まさ子

短歌

足音を気にせずちちる賑やかに
秋の調べと涼しさ誘ふ
越川 義則
声あれどいづれか知らぬ秋虫の
つれづれに鳴く日暮るるほどに
高梨 キヨ
夕闇の庭の席に独り佇み
指揮者のいない虫のシンフォニー
西崎さち子
病より解放されし妹は
微笑みうかべ天に召されり
田崎 尚美

目を前を塩辛とんぼ飛び交いて
歩めるわれに添いつきくる
浅野 榮子
重たげな花梨は枝に下がりりをり
漬けむと待つも未だ青しも
水須 俊
旅終へて帰り来し庭に秋の日は
紫式部の実を深めをり
西山満里子
幼なき日父と苜を採りし山
荒れに荒れ果て入る術なし
芹川 初子
線路際風吹く中にすすき穂の
ゆれつつ光を散らしていたり
椎名美枝子
満月の明かりに照らされ川の辺に
虫の奏でる音を聞きあつ
斉藤つね子

作品展

◎町民会館ミニギャラリー

11月 展示なし
12月 俳句会
カトレア会

◎文化会館ロビー展

11月 アートクレイクラ
フトクラブ
12月 パンの花クラブ

◎銚子商工信用組合展

11月 展示なし
12月 展示なし



生涯学習「クラブ講座」受講生募集

町文化協会加盟のクラブ会員が講師を務める「クラブ講座～アート押し花教室～」の受講生を募集します。

とき 平成30年1月20日(土)～3月17日(土)の第1・第3土曜日(全5回)
午前10時～午後0時30分

ところ 文化会館学習室

内容 第1回 花の押し方・ハガキ 第4回 ランチョンマット
第2回 しおり・コースター 第5回 ラミネート額
第3回 ボールペン

講師 小川 桂子氏

対象者 町内在住・在勤の方

定員 30人

受講料 無料

申込期限 12月22日(金)

※定員になり次第締切

申問 社会文化課生涯学習班

☎84-1358

